

募集要項 [①基幹型]

◆募集人員

6名

(うち2名は長崎大学病院長期研修コースとして、2年次の最大11カ月を長崎大学病院で研修を行うことができます)

◆応募受付期間 及び 選考試験日

9月末まで随時受け付けております。試験日は書類到着後にご連絡します。

◆応募書類

- ・応募申請書、応募理由書 (当院ホームページよりダウンロードできます)
- ・成績証明書

◆応募資格

医学部卒業生または卒業予定者で医師国家試験受験者

※ [②協力型] については長崎大学病院にて募集しております。

「長崎大学病院研修プログラムA」佐世保中央病院 (募集人員: 2名)

病院見学 まずは病院見学にお越しください。

◆申込方法

新・鳴滝塾のホームページより病院見学のエントリーをお願いします。

<http://www.narutaki-jyuku.jp/>

お申し込み後、登録のメールアドレスへ担当者からご連絡します。

◆見学可能日

平日

(随時行っていますが手術や検査等の予定により日程を調整する場合があります)

◆見学内容

ご希望の診療科などに合わせてご案内します。

医局・外来・救急外来・病棟・手術室・検査室など

研修医と一緒に当直を体験するコースもあります。

佐世保中央病院までのアクセス

●西肥バス

尼瀧経由大岳台、沖新経由東浜、技術専門学校行き)

／バス停①下車徒歩1分

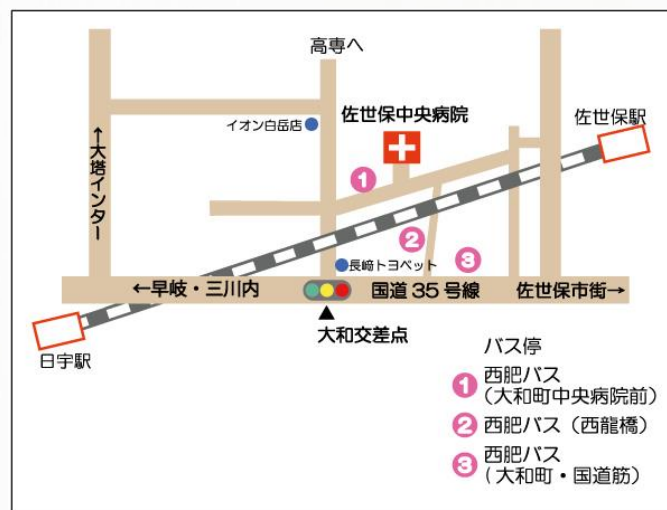
(大宮町経由)／バス停②下車徒歩2分

(藤原橋経由)／バス停③下車徒歩3分

バス停①下車徒歩1分 バス停③下車徒歩3分

●タクシー

佐世保駅より8分 日宇駅より4分



社会医療法人財団 白十字会

佐世保中央病院

地域医療支援病院 がん診療連携推進病院 日本医療機能評価機構認定施設
地域脳卒中センター 認知症疾患医療センター

〒857-1165

長崎県佐世保市大和町15番地

Tel 0956-33-7151

Fax 0956-33-8557

E-mail sch-kensyui@hakujujikai.or.jp

<http://www.hakujujikai.or.jp/chuo/>

担当: 総務室 田中



樹木にとって最も大切なものは何かと問うたら、
それは実だれと誰もが答えるだろう。
しかし実際には「種」なのだ。

- フリードリヒ・ニーチェ -



社会医療法人財団 白十字会

佐世保中央病院

Starting from here!

【指導体制】

臨床研修指導医数：37名（2020年2月現在）

研修医は、入院患者の担当医となり、主治医である上級の医師（指導医又は上級医）と共同して担当します。主治医が指導医でない場合は、主治医の上に更に指導医が位置づけられる「屋根瓦方式」の指導体制をとっています。日当直業務では、1年次研修医、2年次研修医、当直医（指導医又は上級医）からなる屋根瓦方式の指導体制となります。

✓①基幹型初期臨床研修プログラム

佐世保中央病院で2年間の研修

佐世保中央病院において、必修科目及び選択科目を研修するプログラムです。どの診療科においても経験豊富な専門医の指導のもとで診ることができますので、充実した研修となることは間違いありません。

また、2019年度より、1年目を佐世保中央病院、2年目の最大11カ月を長崎大学病院で研修できるコースを設け（最大2名）、研修の幅を広げています。

【協力病院・協力施設一覧】

◆産婦人科：佐世保市総合医療センター、長崎大学病院

◆精神科：長崎大学病院、（医）慶仁会天神病院麻生胃腸科外科医院、

◆地域医療：小値賀町国民健康保険診療所、国民健康保険平戸市民病院、（医）音琴クリニック、（医）加瀬クリニック

【外来研修・在宅医療研修について】

◆外来研修：原則として地域医療研修中の並行研修として実施（4週）しますが、選択した協力施設によっては佐世保中央病院（内科・小児科）においても実施します。

◆在宅研修：小値賀国民健康保険診療所、国民健康保険平戸市民病院、（医）音琴クリニック、（医）加瀬クリニックにて実施します。

✓②協力型初期臨床研修プログラム

1年目を長崎大学病院、
2年目を佐世保中央病院で研修

長崎大学病院の協力病院として、佐世保中央病院にて1年間研修するプログラムです。1年目に長崎大学病院で主に選択必修科目を研修することになりますので、2年目の佐世保中央病院では選択科目を研修することになります。長崎大学病院での研修に引き続き救急医療を含めたより高度な知識、技能、態度を習得したい専門分野を重点的に研修できます。



研修管理委員長
病院長 碓 秀樹

佐世保中央病院 初期臨床研修プログラム

本研修プログラムには、
下記の2コースを設けています。
①基幹型初期臨床研修プログラム
②協力型初期臨床研修プログラム



研修プログラムの特色

救急医療及びプライマリーケアについては、内科、外科、麻酔科所属の際に年間を通じて、救急当直業務を指導医と共にやり、実践的教育を受けることができます。

内科系各専門科は、お互いの垣根を取り払い、6ヶ月間を通して、循環器、消化器、呼吸器、神経内科、糖尿病、膠原病などを診ることができ、抄読会やCPU、専門科カンファランス・回診、新患紹介に参加してもらいます。

産婦人科、精神科については協力医療院・協力施設にて研修ができます。



研修理念

臨床研修は、医師が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるように、基本的な診療能力を身につけることのできるものでなければならない。

最先端の医療を提供する自由度の高い民間病院その環境の中で感じる自己の成長

柔軟な研修を 少人数体制で数多くの経験を



募集人員6名の理由 *Point!*

医師不足の影響を受ける当院においても研修医を多くの採用し、そのマンパワーに期待したいところです。しかしながら、初期研修の2年間は基礎知識や技術を習得するための研修期間であり、3年目から一般臨床医として自立できるかどうかを左右する重要な期間です。そのため、研修の充実、さらには研修医の満足を図るために、当院の①基幹型初期臨床研修プログラムは定員を6名としています。これにより、目が行き届きやすく、融通も利くプログラムになっています。つまり、研修医のやる気次第でいくらでも症例や手技を経験できる体制というわけです。経験により自信を深めることで、3年目にはその成果を実感できるでしょう。



忙しさと経験（医師業務サポート）*Point!*

研修医の期間は雑用が多く忙しい、との話をよく耳にします。当院では「Dr秘書」制度を設けており、各種文書作成や学会発表データ作成などの補助を行う秘書が医局や診察室にいます。「医師は医師にしかできないことを！看護師は看護師にしかできないことを！」との考えで、アシスタントを充実させています。全ての研修医に秘書をつけるほどの甘い研修生活は提供できませんが、これにより指導医は指導に、研修医は研修に集中できる環境となっています。その他にも研修に集中できる環境づくりの一環として、毎日の研修にしっかり取り組むことができるように、医局に朝食を準備しています。雑務で忙しいということではなく、診察や検査など臨床の現場で忙しいということになり、忙しい分だけ多くの症例を経験することができます。やる気次第で、研修の充実度は変わってきます。



幅広い症例の救急対応 *Point!*

当院の年間救急搬送数は2,500件を超え、様々な症例の患者様を診ることができます。二次輪番日の当直に入り、初期の診察をして、その後指導医が指導するという体制を取っています。

最初にトリアージする判断力が養われ、プライマリーケアの基礎的な知識が身に付きます。たとえ、重症や難しい症例にあたったとしても、医師のみならず看護師やコメディカルによるサポート体制が整っていますので、アドバイスを受けながら診療に集中することができます。



研修医処遇

◆研修手当

1年次：基本手当 300,000円/月

2年次：基本手当 315,000円/月

※別途賞与支給有（夏・冬）

時間外手当の支給有り

当直手当：約10万円/月（月5回程度）

◆勤務時間

8：30～17：30（うち休憩60分）

◆休暇

有給休暇：1年目：10日、2年目：11日

特別休暇（忌引き等）

◆宿舍

住宅手当：上限50,000円/月

※転居費用支給有り（100,000円）